

総 説

第 1 部 宮崎県の概況

第 1 章 環境にかかわる県の概況	3
第 2 章 本県の環境の概況	5
第 3 章 環境保全施策の課題と展開	7

総 説

第 1 部 宮崎県の概況

第 1 章 環境にかかわる県の概況

1 地勢・気候

本県は、九州の南東部に位置し、東は太平洋に面しています。

総面積は約7,736km²で国土の約2%に当たり、全国14番目の広さですが、山岳地帯が多く、これらを水源に五ヶ瀬川、耳川、小丸川、一ツ瀬川、大淀川など流路70km以上にわたる河川が太平洋にそそぎ、豊富な水資源をもたらしています。

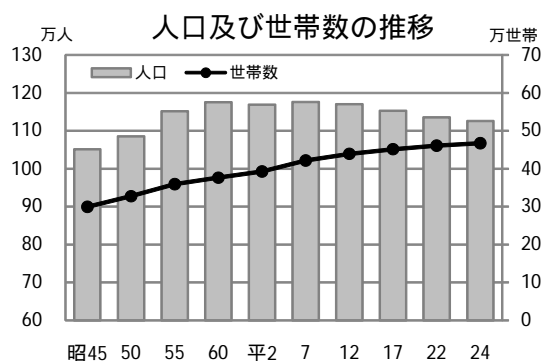
気候は、平成22年の快晴日数は47日で全国第2位となっています。また、昭和56年から平成22年まで30年間の平年値では、快晴日数53日、降水量2,509mmが全国第2位となっており、日照時間2,116時間、平均気温17.4 が第3位となっています。

2 人口・世帯数

平成24年10月1日現在の本県の推計人口は、1,125,909人（男525,580人、女597,329人）です。

昭和45年以降の本県人口の推移をみると、47年から60年まで毎年増加を続け、特に49年から55年にかけては毎年1%台の大きな増加を示しました。その後、平成8年までは緩やかに増減を繰り返しましたが、9年以降、減少傾向が続いています。24年は前年同月比0.44%（5,003人）減少しています。

一方、世帯数（平成24年10月1日現在）は、467,185世帯で、前年同月比0.61%（2,823世帯）の増加となりました。



注：平成24年は推計人口
それ以前は国勢調査年次の数値
各年10月1日現在

3 産 業

本県の産業構造をみると、就業者数、総生産額とも第3次産業の割合が高いものの、全国的には、産業全体に占める第1次産業の割合が高い県となっています。

産業別県内総生産の比較（平成22年度）

産 業	県内総生産額（億円）	割 合（％）
第1次産業	1,520	4.3
第2次産業	7,080	20.2
第3次産業	26,198	74.9

（注）輸入品に課される税・関税等が加算控除されていないため、構成比の合計は100%にはなりません。

4 土地利用

本県の土地利用区分は、次表のとおり、森林が県土の約76%を占め、次いで農用地が約9%となっています。

土地利用の推移についてみると、農用地が減少傾向にある一方で、道路・宅地等が増加しています。

県土の利用区分別面積（基準日：10月1日）

（単位：ha、％）

区 分	20年	21年	22年	23年	
	面積	面積	面積	面積	構成比
農 地（旧農用地）	69,765	69,557	69,250	68,900	8.9
（旧農地）	(69,500)	(69,300)	(69,000)	-	-
（旧採草放牧地）	(265)	(257)	(250)	-	-
森 林	588,867	589,895	590,034	588,590	76.1
原 野 等	2,998	2,991	2,984	1,832	0.2
水面・河川・水路	22,645	22,700	22,733	22,736	2.9
道 路	25,023	25,105	25,235	25,393	3.3
宅 地	26,411	26,556	26,636	26,703	3.5
（住 宅 地）	(16,994)	(17,059)	17,097	17,129	(2.2)
（工 業 用 地）	(1,670)	(1,383)	1,314	1,258	(0.2)
（その他の宅地）	(7,747)	(8,114)	8,225	8,316	(1.1)
そ の 他	37,771	36,679	36,727	39,445	5.1
合 計	773,480	773,483	773,599	773,599	100.0

平成24年度調査（平成23年数値）から採草放牧地の区分が無くなり、原野等に合算されることとなった。また、面積算出のための根拠となる統計が変わったため、原野等の値も大きく減となっている。

5 道路交通

本県の県内道路網は、高速自動車国道3路線、一般国道18路線（直轄分2路線、県管理分16路線）、主要地方道48路線、一般県道149路線、市町村道33,150路線の総計33,368路線に及び、これらの実延長は20,040kmです。

本県の自動車保有台数は平成23年3月末で911,522台で、人口（平成21年10月推計人口）千人当たりの自動車保有台数は、805.2台で、全国第6位であり、全国平均616.9台より188.3台多くなっています。

6 エネルギー

県内の電力需給状況は、発生電力量が消費電力量の半分程度となっている状態が続いています。

都市ガス消費量については、ほぼ横ばいとなっています。また、太陽光発電・熱利用、バイオマス発電・熱利用などの新エネルギーについては、環境負荷の少ないクリーンエネルギーとしての理解が進み、本県においても導入が進んでいます。

第2章 本県の環境の概況

1 地球環境

(1) 地球温暖化

県では、「宮崎県環境計画」において、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出削減目標を掲げ、目標の達成のために地球温暖化防止活動推進員の委嘱を行うとともに、NPO法人宮崎文化本舗を宮崎県地球温暖化防止活動推進センターとして指定するなど、地球温暖化対策を推進しています。

平成22年度の県全体の温室効果ガス総排出量（二酸化炭素換算）は約935万トンで、基準年の平成2年度（代替フロン類は平成7年度）に比べて約43%減少していますが、これは、平成11年に県内企業の工業プロセスからの一酸化二窒素の排出量が大幅に削減されたためです。

(2) 酸性雨

酸性雨対策として、平成3年度から継続的に広域調査を行っていましたが、県内の酸性雨の状況がほぼ同じであるために、平成14年度からは県の測定局1地点及び国の測定局1地点の合計2地点で監視を行っており、平成24年度の結果は全国の平均値と同じレベルでした。

2 生活環境

(1) 大気

大気汚染防止法に基づき、一般環境大気測定及び自動車排出ガス測定の常時監視測定局並びに大気環境測定車で継続的に大気の状態を監視しています。

平成24年度の大気の状態は、二酸化硫黄、二酸化窒素及び一酸化炭素については、全測定局で環境基準を達成していました。光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準を達成していませんでした。二酸化硫黄については、4測定局で、桜島の噴火による影響のため環境基準を達成していませんでした。浮遊粒子状物質については、2測定局で環境基準を達成していませんでした。微小粒子状物質についても、2測定局で環境基準を達成していませんでした。

(2) 水質

水質汚濁防止法の規定により水質測定計画を策定し、これに基づいて公共用水域及び地下水の水質の常時監視を行っています。

平成24年度の公共用水域の水質の状態は、代表的な水質指標であるBOD又はCODでみると、県内全ての水域で環境基準を達成していました。

地下水の水質状況については、調査した139本の井戸のうち、砒素及び^ひふっ素について1本、砒素について4本、テトラクロロエチレン等の有機塩素化合物について8本、硝酸性窒素及び^ひ亜硝酸性窒素について5本が環境基準を超えていました。

(3) 騒音・振動・悪臭

平成24年度に県及び市町村で新たに受理した公害苦情1,394件のうち、悪臭に係るものは211件、騒音に係るものは75件、振動に係るものは6件でした。

(4) 地盤沈下・土壌

地盤沈下については、昭和55年度から平成15年度まで宮崎市、佐土原町及び新富町の一部の地域において1級水準測量による地盤変動調査を実施しましたが、近年では、地盤沈下現象は観測されていません。

また、土壌汚染については、昭和51年度から53年度までで土壌汚染防止対策事業を完了し、さらに平成3年からは公害対策基本法に基づく環境基準により、事業者等で市街地を含めた土壌環境保全の取組がされてきました。また、平成15年2月には土壌汚染対策法が施行され、汚染された土壌による健康被害を防止するための取組がなされてきました。

平成24年度末現在、同法に基づく基準に適合しない区域として指定された区域は、県内で4ヶ所あります。

(5) 廃棄物

県では、廃棄物の排出抑制やリサイクルの積極的な推進を図るとともに、排出された廃棄物については、適正処理に向けた監視や指導を行うなど、各種対策を推進しています。

平成23年度における一般廃棄物については、家庭などからのごみ排出量が約41万2千t、し尿等の収集量が約34万klとなっています。

また、事業活動に伴い発生する産業廃棄物の平成23年度における排出量は、約605万tとなっています。

3 自然環境

(1) 野生動植物

本県の気候は温暖多雨であり、また標高1,500m前後の山岳が連なっているため、植物相は多様で、照葉樹林の自然植生のほか、沿岸部ではピロウ、ハカマカズラ、ハマオモトなどの熱帯性、亜熱帯性植物もみられます。また、本県の北～西部の山地帯の温帯性夏緑広葉樹林には、ブナ、ミズナラ、シナノキなどが生育しており、ブナクラスの南限域となっています。

県内で生息が確認されている動物では、哺乳類のニホンカモシカが国の特別天然記念物に指定されているほか、鳥類のクマタカ、ハヤブサ、ヤイロチョウなど種の保存法指定種も含まれています。また、両生類では環境省レッドリスト掲載種のオオイタサンショウウオ、ベッコウサンショウウオ、オオダイガハラサンショウウオなど、は虫類ではアカウミガメ、アオウミガメ、ニホンスッポンなど、昆虫類ではグンバイトンボ、ルーミスジミ、タガメなどの希少種が生息しています。

なお、県では、平成12年に県版レッドデータブックを作成し、希少野生動植物保護の啓発を行っているほか、平成18年4月には、野生動植物の保護に関する条例を施行しました。

さらに、平成20年3月には県版レッドリストを、平成23年3月には県版レッドデータブックを約10年ぶりに改訂・公表しています。

(2) 自然公園等

本県には、国立公園が霧島錦江湾国立公園1か所、国定公園が日南海岸国定公園など4か所、県立自然公園が尾鈴県立自然公園など6か所あり、平成23年には約850万人の方々を利用しました。

また、平成24年度は、自然公園等の維持管理や利用施設の整備を行うとともに、青島園地において防護柵の設置等を実施しました。

4 景観、文化財等の快適環境

本県は自然環境にも恵まれており、「青島亜熱帯性植物群落」など国指定の特別天然記念物4件をはじめ、国指定天然記念物43件、国指定名勝4件（うち1件は名勝及び天然記念物）、県指定天然記念物20件、県指定名勝7件などがあります。

また、歴史的にも貴重な史跡などの文化財が数多く分布し、重要文化財(有形文化財)17件、重要有形民俗文化財3件、特別史跡1件、史跡22件が国指定となっているほか、国選定重要伝統的建造物群保存地区3件、県指定有形文化財56件、県指定史跡が96件あります。

第3章 環境保全施策の課題と展開

1 環境保全施策の課題

昭和30年代からの我が国の高度成長は、我々に豊かさや利便性をもたらした反面、その過程で、大気汚染や水質汚濁といった様々な環境問題を引き起こしてきましたが、その後の公害関係の法令に基づく各種の環境施策の実施や、事業者・県民の取組等により、全般的に改善の方向に推移してきました。

しかしながら、一方では、人口の集中や生活様式の多様化などに伴う生活騒音、ゴミの散乱などのいわゆる都市・生活型公害、生活排水等による河川の汚濁、廃棄物の多様化や増大などがみられるようになりました。

また、地球温暖化やオゾン層の破壊など、エネルギーや資源の大量消費に支えられた今日の社会経済活動に起因する地球規模の環境問題も深刻になっています。

本県においては、大気や水等概ね良好な自然環境に恵まれているものの、開発による身近な緑の喪失や環境悪化による野生生物の減少等がみられます。

今日の環境問題の多くが日常生活や通常の事業活動に起因していることから、これまでのライフスタイルや社会経済システムを環境に配慮したものに転換し、低炭素社会や循環型の地域社会を構築することが求められています。

このため、環境に関する情報を発信し、環境学習を推進することにより、環境保全活動を実践する人づくりを進めるとともに、農林水産業や工業、観光などの産業活動からの環境への負荷を低減する取組を促進する必要があります。

また、省エネや廃棄物・リサイクル対策など生活環境の保全の施策を推進するとともに、自然公園の適正管理や野生生物の保護管理など、自然環境や生物多様性の保全にも努める必要があります。さらに、環境影響評価制度の適正な運用や環境関連技術・産業の振興などの環境保全の基盤となる施策を進める必要があります。

2 施策の基本的方向

本県では、平成8年3月に環境関連の条例を統括する「宮崎県環境基本条例」を制定するとともに、平成9年3月には「宮崎県環境基本計画」を策定（同13年3月に改訂）し、環境保全の施策を計画的・体系的に推進してきました。

さらに、平成18年3月には、地球温暖化問題、廃棄物・リサイクル問題、生物多様性の問題など、本県の環境保全行政を取り巻く状況の大きな変化に対応するため、平成18年度から22年度までの具体的な取組を定めた「宮崎県環境基本総合計画」を策定し、環境保全の取組を推進してきました。

しかしながら、地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の減少など地球規模の環境問題に加え、廃棄物排出量の高水準での推移や不法投棄の増大など、複雑かつ多様化した環境問題に適切に対応していくため、平成23年度から10年間の環境行政の基本計画となる「宮崎県環境計画」を策定しました。

現在、この計画に定めた施策の基本的方向に基づき各種の施策を展開しています。

(1) 低炭素社会の構築

二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの排出量の削減に向けて、県民、団体、事業者、行政等が一体となった取組を推進するとともに、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を促進します。

森林県である本県の特性を生かし、二酸化炭素の吸収源となる森林づくりを推進します。

(2) 地球環境、大気・水環境等の保全

きれいな空気に包まれた良好な大気環境の保全を図るとともに、水質の監視や生活排水対策などにより良好な水環境の保全を推進します。

県民の安全・安心な生活を確保するため、化学物質に関する情報の把握と情報交換（リスクコミュニケーション）やダイオキシン類対策など、化学物質対策を推進します。

(3) 循環型社会の形成

県民一人ひとりのライフスタイルや事業者の事業活動を見直し、廃棄物の発生抑制、地域資源の有効活用等に取り組み、4 R と廃棄物の適正処理を推進します。

循環型社会の形成に貢献する木材など環境にやさしい製品の積極的な利用を促進します。

(4) 生物多様性の保全

豊かな自然環境が育む野生動植物を保護・管理し、その生息・生育地となる環境を保全するなど、生物多様性の確保を推進します。

地球温暖化の防止や水源涵養、生物多様性の保全など森林の多面的機能が発揮されるよう、適正かつ持続可能な森林管理に努め、人と環境を支える多様で豊かな森林づくりを推進します。

自然環境に配慮した自然豊かな水辺の保全と創出を図るとともに、人と自然とのふれあいの場の確保を推進します。

(5) 環境と調和した地域・社会づくり

農地や森林の有する国土保全機能を維持するとともに、魅力ある農山村づくり、環境とともに歩む農林水産業や観光業の推進など、環境にやさしい地域・産業づくりを推進します。

本県の魅力ある環境を保全・創造していくために、自然景観や街なみ、身近な生活空間にある里山や緑地の保全・創出、地域の愛着を育む歴史的・文化的資源の保護・継承を図るなど、快適でやすらぎある生活空間の創出を推進します。

(6) 環境保全のために行動する人づくり

県民一人ひとりが環境問題に対する関心を持ち、環境保全の実践活動に自主的・積極的に取り組むよう、学校、家庭、地域、職場等の多様な場面での環境学習を推進します。

県民、団体、事業者、行政等の各主体が、適切な役割分担のもと、それぞれの力を合わせて環境保全活動に取り組むよう、連携・協働による環境保全活動を推進します。

3 環境施策の推進状況

平成23年3月に策定した「宮崎県環境計画」において、計画の目標達成に向けて、環境指標（数値目標）を活用した進行管理を行うとともに、その進捗状況について点検・評価することとしております。

環境分野別の施策、施策の基本方向及び施策の展開内容の施策体系表は次のとおりで、平成24年度の各分野別の県の取組状況、環境指標（数値目標）及び実績値は11～31ページにとりまとめました。

【施策体系表】

	環境分野別の施策	施策の基本方向	施策の展開内容
長 期 的 な 目 標	低炭素社会の構築	1 二酸化炭素等排出削減	(1) 家庭部門における排出削減対策の推進
			(2) 産業・業務部門における排出削減対策の推進
			(3) 地域環境の整備及び改善による排出削減対策の推進
			(4) 県自ら率先した地球温暖化を防止するための取組の推進
		2 再生可能エネルギーの利用促進	(1) 太陽光、太陽熱エネルギーの導入促進
			(2) バイオマスエネルギーの導入促進
			(3) 再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた調査研究等の推進
		3 二酸化炭素吸収源対策	(1) 森林資源循環システムの確立等の推進
			(2) オフセット・クレジット制度等の活用による森林整備
新 し い 太 陽 と 緑 の 国 み や ざ き の 実 現	地球環境、大気・水環境等の保全	1 地球環境・大気環境の保全	(1) 大気汚染防止対策の推進
			(2) 有害大気汚染物質等の対策の推進
			(3) 騒音・振動・悪臭対策の推進
			(4) 地球環境の保全
	2 水環境の保全	(1) 水質汚濁防止対策の推進	
		(2) 生活排水対策の推進	
		(3) 河川浄化等の県民活動の推進	
		(4) 都城盆地硝酸性窒素削減対策の推進	
		(5) 一ツ瀬川及び小丸川の濁水軽減等対策の推進	
		(6) 土壌汚染対策の推進	
		(7) 水系別の総合的な水環境保全のための連携	
	3 化学物質対策	(1) 化学物質の環境調査の継続的实施	
		(2) 事業者の監視・指導体制の強化	
		(3) 化学物質に関する情報の把握と情報交換（リスクコミュニケーション）の推進	
	4 環境負荷の低減等	(1) 環境影響評価	
		(2) 公害健康被害対策	
循環型社会の形成	1 4Rと廃棄物の適正処理の推進	(1) 廃棄物処理計画に基づく排出抑制等	
		(2) 4Rの推進と地域性を活かした循環型社会の形成	
		(3) 廃棄物の適正処理の推進	

長 期 的 な 目 標	環境に やさしい 製品の 利用促進	2	環境に	(1) 積極的な木材利用の推進
			やさしい	(2) 県内の公共事業における木造化・木質化の推進
			製品の	(3) 間伐材利用の推進
			利用促進	(4) グリーン購入の推進
				(5) 環境にやさしい製品やサービスの需要拡大に対する支援
新 し い 太 陽 と 緑 の 国	生物多様性の 保全	1	生物多様性	(1) 重要地域の保全
			の確保	(2) 里地里山・藻場干潟の保全
				(3) 外来種及び国内移入種対策
				(4) 希少野生動植物の保護
				(5) 生物多様性地域戦略に基づく取組の推進
	2	人と環境を 支える多様で 豊かな 森林づくり	(1) 健全で多様な森林づくり	
			(2) 適正な森林管理の推進	
			(3) 持続可能な森林経営の推進	
	3	自然豊かな 水辺の保全と 創出	(1) 自然環境に配慮した河川づくりの推進	
			(2) 自然環境に配慮した海岸づくりの推進	
			(3) ため池・ダム貯水池の保全と適切な管理	
			(4) 親水性の確保	
4	自然との ふれあいの場 の確保	(1) 自然とふれあう場や機会の確保		
		(2) 自然環境教育・学習の充実		
		(3) 自然とのふれあい施設設置における自然環境への配慮		
		(4) 自然とのふれあい活動における自然環境への配慮		
み や ざ き の 実 現	環境と調和 した地域・ 社会づくり	1	環境に	(1) 魅力ある農山漁村等づくり
			やさしい	(2) 健全な水循環の確保
			地域・産業	(3) 環境とともに歩む循環型農林水産業の推進
			づくり	(4) 本県の地域特性を活かした体験・交流型観光の推進
				(5) 環境ビジネスの創出・育成
	2	快適な 生活空間の 創出	(1) うるおいとやすらぎある美しい景観・環境づくり	
			(2) 歴史的・文化的資源の保護・継承	
			(3) 環境と調和した生活空間づくり	
	環境保全の ために 行動する 人づくり	1	環境学習の 推進	(1) 学校等における環境学習の推進
				(2) 家庭、地域、職場における環境学習の推進
(3) 環境学習に関する情報の提供				
(4) 環境学習を担う人材の養成・確保				
(5) 環境学習拠点の整備、機能充実				
(6) 森林環境教育の推進				
2		環境保全 活動の推進	(1) 各主体が自発的に行う環境保全活動の支援	
	(2) 多様な主体が一体となって環境保全活動に取り組む体制の充実			

低炭素社会の構築

省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入、二酸化炭素の吸収源としての森林の適正管理が実践され、社会活動や経済活動による二酸化炭素の排出量が極めて少ない低炭素社会が構築されている宮崎県を目指して、施策を展開した。

【施策の基本方向】

1 二酸化炭素等排出削減

【施策の展開内容】

(1) 家庭部門における排出削減対策の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境森林課】
<p>「環境みやざき推進協議会」と連携し、啓発紙「ecoみやざき」の配布等により、省エネの取組促進を図った。</p> <p>「地球温暖化防止活動推進センター」を活用し、家庭での節電にポイントを付与しCO₂削減を図った。</p> <p>住宅用太陽光発電システム設置に対し、1kWあたり2万円(上限6万円)の補助を行った。</p>	<p>年3回、各8,000部</p> <p>検針票提出者:177件 CO₂削減量:7,319kg-CO₂</p> <p>補助件数:2,232件</p>	<p>県民総力戦による環境実践行動推進事業</p> <p>みやざきエコアクションポイントモデル事業</p> <p>住宅用太陽光発電システム導入促進事業</p>	

(2) 産業・業務部門における排出削減対策の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境森林課】
<p>より多くの事業者の省エネ等の取組の推進を図るため、「みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例」を一部改正し、温室効果ガス排出抑制計画書等を提出する義務の対象事業者の拡大等を図った。</p> <p>上記条例改正の説明会と合わせて、専門講師を招いての「省エネセミナー」を開催し、具体的な省エネ対策や国内クレジット、J-VER等についての情報提供を行った。</p> <p>「地球温暖化防止活動推進センター」を中心として、職場や家庭等で行う省エネ活動をサポートするための人材育成を行った。</p> <p>再生可能エネルギー等導入推進基金を活用し、小学校等への太陽光パネル・蓄電池の設置を行った。</p> <p>環境に配慮した事業者を育成するため、エコアクション21取得事業所の体験会を行った。</p>	<p>パンフレット作成:4,000部</p> <p>セミナーの開催:3箇所(各2回)</p> <p>研修会開催:3回、各地域でのセミナー開催19回</p> <p>設置場所:椎葉村、国富町、門川町、五ヶ瀬町の小学校・庁舎等</p> <p>体験会開催:3回</p>	<p>カーボンアクションフォローアップ事業</p> <p>地球温暖化防止活動推進事業</p> <p>再生可能エネルギー等導入推進基金事業</p> <p>県民総力戦による環境実践行動推進事業</p>	

(3) 地域環境の整備及び改善による排出削減対策の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【都市計画課】	【道路保全課】	【総合交通課】	【環境森林課】
<p>マイカーから環境にやさしい交通手段への転換を図るため、交通利用者への意識啓発を行った。</p> <p>渋滞等の著しい交差点の改良等を実施した。</p> <p>トラックによる陸上輸送から、海上輸送や鉄道輸送にシフトした貨物等に対して補助し、モーダルシフトの推進を図った。</p> <p>公共交通の利用促進PRやイベント等の取組を行う市町村や団体に対して助成した。</p> <p>事業者向けに開催した「省エネセミナー」の中で、専門講師によるエコドライブ講習等を行った。</p>	<p>パンフレット配布:30,000部等</p> <p>実施箇所:中村木崎線等 2路線2工区</p> <p>補助件数:23件</p> <p>補助件数:小林市他8市町等</p> <p>セミナーの開催:3箇所(各2回)</p>	<p>暮らしやすい都市圏をつくる交通推進事業(宮崎都市圏総合交通戦略)</p> <p>地域自主戦略交付金(交通安全事業)</p> <p>宮崎県物流効率化支援事業</p> <p>地域公共交通チャレンジ支援事業</p> <p>カーボンアクションフォローアップ事業</p>				

(4) 県自ら率先した地球温暖化を防止するための取組の推進

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【環境森林課】

【県庁各所属】

宮崎県庁地球温暖化対策実行計画を県庁エコプランに基づき推進し、グリーン購入や、県業務により発生する温室効果ガスの排出量削減に取り組んだ。

環境性能の高いハイブリッド自動車を公用車として導入した。

温室効果ガス排出量
(H24): 56,839t-CO₂

ハイブリッド自動車: 6台

宮崎県庁地球温暖化対策実行計画

宮崎県環境計画

【施策の基本方向】

2 再生可能エネルギーの利用促進

【施策の展開内容】

(1) 太陽光、太陽熱エネルギーの導入促進

【産業振興課】 【農政企画課】

【フードビジネス推進課】

【環境森林課】

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

県内太陽電池関連産業の振興を図るためのセミナー、展示会出展等の活動を行った。

太陽熱を活用したハウス冷暖房技術の開発を進めるため、太陽熱温水の有効活用や暖房能力の向上などシステムの機能強化に取り組んだ。

ビームダウン式太陽集光装置による新エネルギーの研究開発のための体制づくりに取り組んだ。

県内住宅に太陽光発電システムを設置する者に対し補助するとともに融資も行った。

セミナーの開催: 4回
展示会出展: 3回

システム改修及び効果確認

設置場所: 宮崎大学

補助件数: 2,232件
新規融資: 39件
年度未融資件数: 237件

ソーラー・半導体関連産業集積促進事業

儲かる農水産業を支援する試験研究機能強化事業
地球温暖化対応「みやざきモデル」確立事業

産学官連携による新たな産業づくり事業

太陽光発電システム導入促進事業
住宅用太陽光発電システム融資制度

(2) バイオマスエネルギーの導入促進

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【山村・木材振興課】

【農産園芸課】

林地残材など未利用の森林バイオマスの利用拡大を図るため、市町村の公共施設において、木質ボイラーへの転換シミュレーションを実施した。

木質ボイラーの利用拡大に向けて、市町村及び民間事業者に対して研修会を開催した。

県産木質ペレットの園芸ハウス暖房用燃料への活用を図るための実証実験を行った。

実施場所: 4か所
(串間市 庁舎他)

研修会の開催: 1回

設置場所: ミニトマト(都農)

森林バイオマス利活用普及促進事業

ネクスト! みやざきエコ施設園芸産地拡大事業

(3) 再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた調査研究等の推進

【農産園芸課】
【環境森林課】
【農村整備課】

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

<p>園芸ハウス燃料の木質バイオマス転換に向けた機運向上・情報共有のため、生産者や関係機関、企業等に対する研修会を開催した。</p> <p>事業者向けに開催した「省エネセミナー」の中で、再生可能エネルギーの導入や各種クレジットの活用について情報提供を行った。</p> <p>本県が有する太陽光やバイオマス、小水力等の地域資源を有効活用し、新エネルギーの導入を積極的に促進するための指針として、新エネルギービジョンを策定した。</p> <p>農業用施設を活用した小水力発電等を促進するため、導入可能性調査を実施するとともに、市町村や土地改良区に対する研修会を開催した。</p>	<p>室内研修、現地検討会等の開催：5回</p> <p>パンフレット作成：4,000部 セミナーの開催：3箇所(各2回)</p> <p>正本500部、概要版1,500部</p> <p>可能性調査等：14地区 研修会の開催：2回</p>
---	---

<p>ネクスト！みやざきエコ施設園芸産地拡大事業</p> <p>カーボンアクションフォローアップ事業</p> <p>新エネルギービジョン策定事業</p> <p>小水力発電等農村地域導入支援事業</p>
--

【施策の基本方向】

3 二酸化炭素吸収源対策

【施策の展開内容】

(1) 森林資源循環システムの確立等の推進

【森林経営課】
【自然環境課】

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

<p>資源の循環利用や森林の持つ公益的機能の高度発揮に資するため、植栽、下刈、間伐等の支援を行い、健全で多様な森林づくりを推進した。</p> <p>保安林機能のより効果的な発揮を促進するため、大規模森林所有者に対し、保安林指定促進を行った。</p> <p>森林の土地の所有者となった旨の届出等により、市町村が把握する森林所有者情報への対応に必要なデータシステムの整備を図った。</p> <p>CO₂吸収機能の高い森林の造成を図るため、植栽や下刈り、間伐等保安林の整備を行った。</p>	<p>植栽：1,679ha 下刈：8,846ha 除間伐：5,866ha</p> <p>保安林の指定率：26.8% (県内全域2,113ha)</p> <p>実施市町村数：7市町</p> <p>保安林の整備：75箇所 (538ha)</p>
---	--

<p>森林環境保全直接支援事業 間伐推進加速化事業 水を貯え、災害に強い森林づくり事業</p> <p>保安林管理事業</p> <p>宮崎の森林・林業再生事業</p> <p>保安林整備事業</p>

(2) オフセット・クレジット制度等の活用による森林整備

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【みやざきの森林づくり推進室】

<p>門川県有林内の間伐実施地において「VER(森林吸収系)を取得した(間伐によるCO₂吸収増大)。</p> <p>森林づくり活動によって得られたCO₂吸収量を認証するなど、企業による森づくり活動を推進した。</p>	<p>オフセットクレジット 認証森林累計面積：1,831ha</p> <p>企業の森づくり活動：4社</p>
--	--

<p>森林資源活用温暖化対策推進事業</p> <p>「みやざきの森づくりコミッション」活動促進事業</p>

【主な指標と実績】

H24年度は未算定のため、以下は参考として直近の実績値を示す。

項目	H2年度	H22年度	H24年度	H27年度	H32年度	
	(基準年)	(目安 参考)	(実績)	(中間目標値)	(目標値)	H2年度比
温室効果ガス総排出量 (千t-CO ₂)	16,912	9,423 9,354	未公表	9,142	8,143	-52%
エネルギー起源二酸化炭素 排出量(千t-CO ₂)	8,060	7,760 7,601		6,606	5,607	-30%
二酸化炭素排出量 (産業部門)	4,078	3,767 3,646		3,095	2,626	-36%
二酸化炭素排出量 (家庭部門)	1,101	965 1,325		776	660	-40%
二酸化炭素排出量 (業務部門)	841	949 850		899	764	-9%
二酸化炭素排出量 (運輸部門)	2,040	2,079 1,780		1,836	1,557	-24%
森林の二酸化炭素 吸収量	-	930 893	-	-	1,629	-

H22年度の目安は前計画(宮崎県環境基本総合計画)の目標値を記載した。

項目	H21年度	H23年度	H24年度	H27年度	H32年度
	(現況値)	(目安 参考)	(実績)	(中間目標)	(目標値)
新エネルギー総出力電力 (kW)	199,445	276,058 237,641	未公表	429,284	515,122

バイオマスについてはバイオマス比率を按分していない。



1-(2)(3) 事業者向け省エネセミナー



2-(2) 県産木質ペレットと木質ペレット暖房機の利用



2-(3) 木質バイオマス転換に向けた現地検討会の様子



地球環境、大気・水環境等の保全

環境に対する意識が高まり、大気や水質の監視・保全対策が適切に行われ、生活環境が良好に保たれている宮崎県を目指して、施策を展開した。

【施策の基本方向】

1 地球環境・大気環境の保全

【施策の展開内容】

(1) 大気汚染防止対策の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境管理課】
<p>大気汚染防止法に基づき大気汚染の状況について常時監視を行うとともに、県民への情報提供を行った。</p> <p>大気汚染物質の排出源となる工場・事業場に対し、定期的に入入検査を実施した。</p>	<p>一般環境大気測定：15局 自動車排出ガス測定：5局 HP「みやざきの環境」への掲載による情報提供</p> <p>立入検査：395件</p>	<p>大気汚染常時監視事業</p>	

(2) 有害大気汚染物質等の対策の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境管理課】
<p>大気汚染防止法に基づき有害大気汚染物質のモニタリングを行うとともに、県民への情報提供を行った。</p>	<p>調査地点：4地点 常時監視：4地点 HP「みやざきの環境」への掲載による情報提供</p>	<p>有害大気汚染物質モニタリング事業</p>	

(3) 騒音・振動・悪臭対策の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境管理課】
<p>自動車交通騒音の面的評価、航空機騒音の常時監視を行うとともに、県民への情報提供を行った。</p>	<p>面的評価：17地点 常時監視：4地点 HP「みやざきの環境」への掲載による情報提供</p>	<p>自動車交通騒音常時監視事業 航空機騒音常時監視事業</p>	

(4) 地球環境の保全

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境管理課】
<p>「自動車リサイクル法」に基づき、フロン類回収業者に対する指導を行った。</p> <p>「フロン回収破壊法」に基づき、フロン類回収業者の登録等を行った。</p> <p>広域的な大気汚染の状況を把握するため、酸性雨のモニタリングを実施した。</p>	<p>フロン類回収実績のある事業者のマニフェスト報告率：100%</p> <p>登録業者数：288業者</p> <p>調査地点：2地点</p>	<p>自動車リサイクル推進事業</p> <p>フロン対策推進事業</p> <p>酸性雨モニタリングネットワーク推進事業</p>	<p>【循環社会推進課】</p> <p>【環境管理課】</p>

【施策の基本方向】

2 水環境の保全

【施策の展開内容】

(1) 水質汚濁防止対策の推進

【取組状況】	【取組成果】
<p>公共用水域及び地下水測定計画に基づき、公共用水域及び地下水の監視を行うとともに、県民への情報提供を行った。</p> <p>「水質汚濁防止法」に基づく特定事業場に対し、定期的に立入検査を実施した。</p> <p>養豚汚水浄化処理施設の適切な運転管理を推進するため、水質分析の実施及び分析結果に基づく指導等を実施した。</p>	<p>公共用水域測定：243地点 地下水測定：139地点 HP「みやざきの環境」への掲載による情報提供</p> <p>特定事業場への立入検査：687件</p> <p>水質分析 292件</p>

【主な関連事業名等】	【環境管理課】 【畜産振興課】
<p>公共用水域常時監視 地下水常時監視 水質事故原因調査</p> <p>排水検査</p> <p>新生！みやざき畜産バイオマス活用対策事業</p>	

(2) 生活排水対策の推進

【取組状況】	【取組成果】
<p>公共下水道の整備を促進するため、公共下水道事業を実施する市町村に交付金を交付した。</p> <p>浄化槽設置整備事業及び浄化槽市町村整備推進事業を実施する市町村に対して補助した。</p> <p>浄化槽設置予定者を対象とした「浄化槽設置者講習会」を開催し、浄化槽の適正な維持管理の普及啓発を行った。</p> <p>法定検査を受検していない浄化槽管理者に対し、文書や電話などによる法定検査受検啓発を行った。</p>	<p>対象市町村：6市5町</p> <p>補助基数：2,038基</p> <p>講習会参加者数：2,618人</p> <p>啓發文書発送件数：40,966件</p>

【主な関連事業名等】	【都市計画課】 【環境管理課】
<p>宮崎県公共下水道整備促進事業</p> <p>浄化槽整備事業</p> <p>浄化槽適正管理指導事業</p> <p>浄化槽適正管理フォローアップ事業</p>	

(3) 河川浄化等の県民活動の推進

【取組状況】	【取組成果】
<p>NPO等と協働して、本県独自の五感を使った水辺環境指標を用いた水辺環境調査の普及に努めた。</p> <p>「ふるさとの水辺」HPを通じ、県民に水辺体験イベント等の情報発信を行った。</p>	<p>水辺環境調査参加人数：2,350人</p> <p>「ふるさとの水辺」HPの運営</p>

【主な関連事業名等】	【環境管理課】
<p>「ふるさとの水辺」ふれあい推進事業</p>	

(4) 都城盆地硝酸性窒素削減対策の推進

【取組状況】	【取組成果】
<p>都城盆地硝酸性窒素削減対策協議会において、盆地内の地下水の測定を行うとともに、都城盆地硝酸性窒素削減対策実行計画の見直しを行った。</p>	<p>地下水測定件数：216件 (うち基準超過26件)</p>

【主な関連事業名等】	【環境管理課】
<p>都城盆地硝酸性窒素削減対策協議会</p>	

(5) 一ツ瀬川及び小丸川の濁水軽減等対策の推進

【取組状況】	【取組成果】
<p>伐採跡地の再造林や適切な間伐の実施等により、裸地化の防止や下層及び林床の豊かな森林づくりを進めるとともに、一ツ瀬川及び小丸川流域における濁水発生の抑止に努めた。</p> <p>治山ダムや山腹工の計画的な整備を行うとともに、治山事業の対象とならない崩壊地から土砂の流出を防止するため、緑化事業を実施した。</p>	<p>下刈：583ha 除間伐：164ha 植栽：111ha 上下流域の交流事業：1回</p> <p>谷止工：11基 土留工：5個 緑化工：4,429㎡</p>

【主な関連事業名等】	【森林経営課、環境管理課】 【自然環境課】
<p>森林環境保全直接支援事業 間伐推進加速化事業 環境保全の森林整備事業</p> <p>山地治山事業 地すべり防止事業 県単治山事業、県単補助治山事業 災害関連緊急治山事業 一ツ瀬川及び小丸川流域崩壊地等緑化事業</p>	

(6) 土壌汚染対策の推進

【取組状況】

土壌汚染対策法に基づく一定の規模以上の土地の形質の変更届出や事業者が実施した汚染土壌状況調査結果を審査し、汚染の除去等の実施を指導した。

【取組成果】

法に基づく土地の形質変更の届出:72件
法に基づく汚染土壌の搬出:0件

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

土壌汚染対策法に基づく届出審査

(7) 水系別の総合的な水環境保全のための連携

【取組状況】

都城地域の住民を対象に、小学校、自治体等と連携し、学習会や実践活動などを行った。
国が進める「清流ルネッサンス」と連携して、大淀川上流域の河川浄化対策について、協議を行った。

【取組成果】

学習会:2校(214名)
実践活動:250世帯対象
水質調査:45地点

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

「ふるさとの水辺」ふれあい推進事業
清流ルネッサンス

【施策の基本方向】

3 化学物質対策

【施策の展開内容】

(1) 化学物質の環境調査の継続的実施

【取組状況】

ダイオキシン類について継続して環境調査を行うとともに、県民への情報提供を行った。

【取組成果】

調査地点:大気6、水質15、
底質13、地下水7、土壌9
HP「みやざきの環境」への
掲載による情報提供

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

ダイオキシン類対策事業

(2) 事業者の監視・指導体制の強化

【取組状況】

PRTR法に基づき、特定化学物質の排出等の状況を把握し、事業者の化学物質対策について監視・指導を行った。

【取組成果】

届出事業所:348件

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

PRTR推進事業

(3) 化学物質に関する情報の把握と情報交換の推進

【取組状況】

化学物質の製造・使用・廃棄等の実態や環境及び人の健康への影響などの情報把握を行った。

【取組成果】

調査地点:大気、水質、底
質各1地点

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

化学物質環境汚染実態調査事業

【施策の基本方向】

4 環境負荷の低減等

【施策の展開内容】

(1) 環境影響評価

【取組状況】

環境影響評価法に基づき作成された方法書、準備書について環境保全の観点から審査を行った。

【取組成果】

方法書:1件(発電所)
準備書:2件(発電所)

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

環境影響評価事業

(2) 公害健康被害対策

【取組状況】

認定患者等に対し、問診や医師による検診、保健指導及び補償給付を実施した。

【取組成果】

健康観察検診:74人
法給付適用者:43人

【主な関連事業名等】

【環境管理課】

補償給付
法定検診
観察検診

【主な指標と実績】

項目	H20年度 (現況値)	H24年度 (目安 (実績))	H32年度 (目標値)
大気環境基準達成率(%)			
二酸化硫黄(SO ₂)	100.0	100.0 83.3	100.0
二酸化窒素(NO ₂)	100.0	100.0 100.0	100.0
光化学オキシダント(O _x)	6.3	100.0 23.5	100.0
浮遊粒子状物質(SPM)	100.0	100.0 90.9	100.0
一酸化炭素(CO)	100.0	100.0 100.0	100.0
有害大気汚染物質の環境基準達成率(%)			
ベンゼン	100.0	100.0 100.0	100.0
トリクロロエチレン	100.0	100.0 100.0	100.0
テトラクロロエチレン	100.0	100.0 100.0	100.0
ジクロロメタン	100.0	100.0 100.0	100.0
自動車騒音の環境基準達成率(%)			
面的評価	99.1	100.0 94.7	100.0
航空機騒音の環境基準達成率(%)	25.0	100.0 25.0	100.0
水質環境基準達成率(%)			
生物化学的酸素要求量(BOD)	97.5	100.0 100.0	100.0
化学的酸素要求量(COD)	100.0	100.0 100.0	100.0
地下水における環境基準達成率(%)	80.3	100.0 87.1	100.0
生活排水処理率(%)	66.9	74.6 73.1	81.0
公共下水道	43.8	48.1 48.2	50.0
合併処理浄化槽	19.5	21.6 21.1	27.0
農(漁)業集落排水施設	3.7	4.9 3.8	4.0
浄化槽法定検査実施率(%)			
7条検査(設置後の検査)	100.0	100.0 100.0	100.0
11条検査(年に1回の定期検査)	13.1	25.4 42.0	50.0
ダイオキシン類の環境基準達成率(%)			
大気	100.0	100.0 100.0	100.0
公共用水域水質	100.0	100.0 100.0	100.0
公共用水域底質	100.0	100.0 100.0	100.0
地下水	100.0	100.0 100.0	100.0
土壌	100.0	100.0 100.0	100.0



1-(1) 大気汚染状況常時監視



2-(2) 特定事業場排水検査



2-(2) 養豚汚水浄化処理施設の適切な運転管理



2-(3) 水辺環境調査

循環型社会の形成

家庭や学校、企業や地域社会のあらゆる場面において、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の取組が実践される、環境への負荷が少ない循環型社会が実現している宮崎県を目指して、施策を展開した。

【施策の基本方向】

1 4Rと廃棄物の適正処理の推進

【施策の展開内容】

(1) 廃棄物処理計画に基づく排出抑制等

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【循環社会推進課】
県内の廃棄物の排出・処理状況を把握するため、産業廃棄物処理の実態調査を行い、報告書を作成した。一般廃棄物についても、環境省調査の県分データをまとめた「宮崎県の一般廃棄物」を作成した。	報告書作成、HP「みやざきの環境」等による公表	宮崎県循環型社会推進計画進行管理事業	

(2) 4Rの推進と地域性を活かした循環型社会の形成

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【循環社会推進課】 【技術企画課】 【畜産振興課】
<p>県内の廃棄物等の循環利用や今後の取組について、情報提供を行った。</p> <p>10月に「みやざきマイバッグキャンペーン」を実施した。</p> <p>産業廃棄物の再生利用を促進するため、リサイクル施設を整備する産業廃棄物処理業者に対し助成した。</p> <p>公共工事の建設リサイクルに関する情報発信を行い、民間における建設リサイクルの意識啓発を図った。</p> <p>民間団体が行うごみ減量化等の取組を支援するため、宮崎県4R推進協議会を通して4Rアクションサポート事業を実施した。</p> <p>家畜排せつ物の適正処理と有効利用を図るため、利用者ニーズに応じた堆肥の生産や利用促進のための堆肥分析、技術者養成及び処理・利用施設機械の整備推進等を行った。</p> <p>産業廃棄物の排出抑制、再生利用その他適正な処理の推進を図るため、産業廃棄物税基金を活用した事業を実施した。</p>	<p>HP「みやざきの環境」への掲載による情報提供</p> <p>協力店舗：655店 マイバッグ持参率：28.2%</p> <p>補助件数：3件</p> <p>リーフレット作成・配布：2,000部 モデル工事事例集の作成・配布：300部</p> <p>実施団体：15団体</p> <p>堆肥生産・利用研修会等参加者数：104名 堆肥等成分分析：36件 施設機械等の整備：39箇所</p> <p>26事業</p>	<p>ネットで環境学習推進事業</p> <p>循環型社会形成のための総合対策事業</p> <p>建設工事リサイクル支援事業</p> <p>新生！みやざき畜産バイオマス利活用対策事業 口蹄疫畜産再生基金事業</p> <p>宮崎県産業廃棄物税基金条例</p>	

(3) 廃棄物の適正処理の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【循環社会推進課】 【農産園芸課】
<p>保健所等に現職警察官及び廃棄物監視員を配置し、産業廃棄物の不適正処理に対する行政処分・指導を行った。</p> <p>産業廃棄物の排出事業者向け講習会を開催するとともに、事業者と連携した不法投棄防止キャンペーンを実施した。</p> <p>PCBの適正処理のため独立行政法人環境再生保全機構が設置する「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基金」へ助成を行った。</p> <p>市町村等の広域的な廃棄物処理施設の整備に対し、「宮崎県ごみ処理広域化支援事業交付金」を交付し、ごみ処理の効率化・適正化を推進した。</p> <p>農業用廃プラスチックの適正処理・リサイクルを促進するため、啓発活動を実施した。</p>	<p>警察官の配置：4名 廃棄物監視員の配置：18名 行政処分：10件</p> <p>講習会の開催：県内8箇所(540人)</p> <p>中小企業者に対して処理費用の軽減を図った。</p> <p>焼却施設の整備：1件</p> <p>配布チラシ：50,000枚等</p>	<p>廃棄物適正処理推進ネットワーク強化事業</p> <p>循環型社会形成のための総合対策事業</p> <p>ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進事業</p> <p>宮崎県ごみ処理広域化推進支援事業</p> <p>農業用廃プラ適正処理体制整備支援事業</p>	

【施策の基本方向】

2 環境にやさしい製品の利用促進

【施策の展開内容】

(1) 積極的な木材利用の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【みやざきスギ活用推進室】
<p>住宅建設予定者を対象に、県産材を活用した住宅の魅力や優位性等についてPRを行う講習会の開催及び乾燥柱材を提供した。</p> <p>木工教室や木にふれる場所を提供する「木づかいイベント」や、杉を素材とした全国規模のデザインコンペである「杉コレクション」を開催した。</p>	<p>講習会参加者：約340人 乾燥柱材の提供：100戸分</p> <p>開催地：宮崎市みやざきアートセンター、若草通 来場者：約5,000人</p>	<p>日本一「みやざきスギ」活用住宅づくり支援事業 (県産乾燥柱材80本提供)</p> <p>杉コレde木育プロジェクト推進事業</p>	

(2) 県内の公共事業における木造化・木質化の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【みやざきスギ活用推進室】	【森林経営課】
<p>県営林道事業において、積極的な木材利用に努めるとともに、市町村等が整備する木造公共施設等へ支援した。</p> <p>県産材利用推進委員会を開催するとともに、公共土木事業における木材利用を推進するため、関係係局による検討会「グリーン公共事業推進部会」を開催した。</p>	<p>木材使用量：160m³ 木造化・木質化：11箇所等</p> <p>県有施設の木造化・木質化の推進 部会開催：2回</p>	<p>道整備交付金事業 山のみち地域づくり交付金事業 木のある生活づくり推進事業</p>		

(3) 間伐材利用の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【みやざきスギ活用推進室】
<p>公共土木事業における木材利用を推進するため、関係係局による検討会「グリーン公共事業推進部会」を開催した。</p>	<p>部会開催：2回</p>	<p>各公共土木事業</p>	

(4) グリーン購入の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【環境森林課】
<p>県自ら環境への負荷の少ない製品・サービスの優先的な購入を図った。</p>	<p>「環境物品等調達方針」を策定</p>	<p>宮崎県グリーン購入基本方針</p>	

(5) 環境にやさしい製品やサービスの需要拡大に対する支援

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【循環社会推進課】
<p>(社)宮崎県産業廃棄物協会が実施するリサイクル製品認定制度について補助した。</p>	<p>リサイクル製品の認定：6品目(通算15品目)</p>	<p>循環型社会形成のための総合対策事業</p>	

【主な指標と実績】

項目	H20年度 (現況値)	H24年度 (目安 実績)	H27年度 (中間目標)	H32年度 (目標値)
マイバッグ持参率 (%)	22.5	28.5 28.2	33.0	50
補助事業等施設における 木材使用量 (m ³)	3,497	3,613 2,009	3,700	5,000
リサイクル製品認定数 (品目)	0	6 15	10	20

H24年度は未算定のため、以下は参考として直近の実績値を示す。

項目	H20年度 (現況値)	H23年度 (目安 参考)	H24年度 (実績)	H27年度 (中間目標)	H32年度 (目標値)
循環利用率 (%)	23.9	-	未公表	24.3	24.4
最終処分量 (千t)	228	218 187		204	193
一般廃棄物の排出量 (千t)	428	412 412		391	373
1人1日当たりの一般廃棄物 の排出量 (g/人・日)	1,009	996 980		979	970
一般廃棄物の再生利用量 (千t)	78	87 79		98	95
一般廃棄物の再生利用率 (%)	18.4	21.2 19.1		25.0	25.0
一般廃棄物の最終処分量 (千t)	55	50 49		43	41
一般廃棄物の最終処分率 (%)	12.8	12.0 11.9		11.0	11.0
産業廃棄物(家畜ふん尿を 含む)の排出量 (千t)	6,684	6,735 6,047		6,804	6,809
産業廃棄物(家畜ふん尿を 含む)の再生利用量 (千t)	4,410	4,454 3,993		4,512	4,527
産業廃棄物(家畜ふん尿を 含む)の再生利用率 (%)	66.0	66.1 66.0		66.3	66.5
産業廃棄物(家畜ふん尿を 含む)の最終処分量 (千t)	173	168 138		161	151
産業廃棄物(家畜ふん尿を 含む)の最終処分率 (%)	2.6	2.5 2.3		2.4	2.2
産業廃棄物(家畜ふん尿を 除く)の排出量 (千t)	2,038	2,038 2,026		2,038	2,014
産業廃棄物(家畜ふん尿を 除く)の再生利用量 (千t)	851	855 838		861	854
産業廃棄物(家畜ふん尿を 除く)の再生利用率 (%)	41.8	42.0 41.3		42.2	42.4
グリーン購入実施率 (県庁) (%)	94.2	96.7 95.1		100	100



1-(2) マイバッグキャンペーンの様子



1-(3) 産業廃棄物排出者講習会の様子



2-(1) 杉コレクション2012in宮崎

生物多様性の保全

森林や河川、海などの自然環境や生物の多様性が保たれ、癒しや憩いの場、環境教育の場としてみんなが自然に親しむことができる宮崎県を目指して、施策を展開した。

【施策の基本方向】

1 生物多様性の確保

【施策の展開内容】

(1) 重要地域の保全

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【自然環境課】

野生動植物の個体の生息地等及びこれらと一体的にその保護を図る必要がある重要生息地についての調査を行った。

重要生息候補地の指定検討(高千穂町鳥屋岳)

生物多様性保全総合対策事業

(2) 里地里山・藻場干潟の保全

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【水産政策課】

県内の藻場・干潟等のモニタリングや効果的な藻場回復の取組を実施した。

藻場・干潟等保全活動の取組面積:85.2ha

環境・生態系保全活動支援事業

(3) 外来種及び国内移入種対策

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【漁村振興課】

【自然環境課】

漁業者が実施する外来魚駆除活動や県民への啓発活動に対して支援を行った。

外来魚駆除の実施:3カ所
啓発活動参加者:2,255人

内水面資源保護活動実践事業

重要生息地において、植栽された外来植物の除去指導を目的とした講演会を開催した。

開催地:高鍋湿原重要生息地(高鍋町)

生物多様性保全総合対策事業

(4) 希少野生動植物の保護

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【自然環境課】

レッドデータブック改訂の基礎資料として、野生動植物生息状況等調査を実施した。

植物4分野、動物9分野の13分野で生息状況等調査を実施

野生動植物生息状況等調査事業

希少野生動植物の生息地をシカの食害等から保護するため、シカ防護ネットを設置した。

設置場所:川坂湿原(延岡市北川町)187m、白岩山(五ヶ瀬町)225m

生物多様性保全総合対策事業

サンゴ群集を保護するため、天敵であるヒメシロレイシガイダマシの駆除を実施した。

ヒメシロレイシガイダマシの駆除 22.4kg

サンゴ群集環境保全対策事業

(5) 生物多様性地域戦略に基づく取組の推進

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【自然環境課】

生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略の策定について検討した。

宮崎県生物多様性地域戦略の検討

生物多様性保全総合対策事業

【施策の基本方向】

2 人と環境を支える多様で豊かな森林づくり

【施策の展開内容】

(1) 健全で多様な森林づくり

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【森林経営課】 【みやざきの森林づくり推進室】 【自然環境課】
<p>森林の土地の所有者となった旨の届出等により、市町村が把握する森林所有者情報への対応に必要なデータシステムの整備を図った。</p> <p>森林環境税を活用して広葉樹の植栽、間伐による針広混交林への誘導を行うなど、健全で多面的機能を重視した森林づくりを推進した。</p> <p>ボランティア等が行う森林づくり活動の実践や支援を行った。</p> <p>巨樹・古木等の樹勢回復事業を行った。</p> <p>海岸県有松林の巡視や歩道等の維持管理、清掃、ゴミの不法投棄の防止、枯死木の除去、病害虫防除等を行った。</p>	<p>実施市町村数：7市町 広葉樹の植栽：155ha 針広混交林への誘導：278ha 実践活動：3箇所 支援団体：33団体 巨樹・古木の樹勢回復：1本 海岸県有松林の巡視 歩道等沿線のゴミ拾い（6月～3月、月1回） 歩道等沿線の草刈実施（6月、11月） マツクイ虫被害木の撤去（1月）</p>	<p>市町村森林所有者情報整備事業</p> <p>水を貯え、災害に強い森林づくり事業</p> <p>水と緑の森林づくり推進事業 森林づくり応援団活動支援事業</p> <p>未来への遺産ふるさと巨樹古木等保全事業</p> <p>みやざき癒しの臨海松林整備事業</p>	

(2) 適正な森林管理の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【みやざきの森林づくり推進室】 【森林経営課】
<p>公益上重要な森林の適正な整備・保全を図るために、森林の公有林化を推進した。</p> <p>森林の持つ公益的機能の高度発揮に資するため、植栽、下刈、間伐等の支援を行い、森林の適正な管理を推進した。</p> <p>間伐が必要な箇所のリストアップと現地調査を行い、必要と認められた箇所の森林所有者名等を調査し、情報の把握を行った。</p>	<p>公有林化の推進：2市町（4箇所）</p> <p>植栽：1,679ha 下刈：8,846ha 除間伐：5,866ha</p> <p>間伐が必要な箇所</p>	<p>わが町のいきいき森林づくり推進事業</p> <p>森林環境保全直接支援事業 間伐推進加速化事業 水を貯え、災害に強い森林づくり事業</p> <p>要間伐森林等調査事業 地域森林資源情報整備事業 宮崎の森林・林業再生促進事業</p>	

(3) 持続可能な森林経営の推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【森林経営課】
<p>流域森林・林業活性化センターが行う認証森林の拡大及び認証材の安定取引に向けた研究会や協議会等の取組を行った。</p>	<p>認証森林面積：6,957ha (H24年度取得)</p>	<p>持続可能な森林経営具現化実践事業</p>	

【施策の基本方向】

3 自然豊かな水辺の保全と創出

【施策の展開内容】

(1) 自然環境に配慮した河川づくりの推進

【取組状況】	【取組成果】	【主な関連事業名等】	【漁村振興課】 【河川課】
<p>魚道機能の改善を図るため、漁業者が行う魚道の改修に対して助成を行った。</p> <p>河川工事を実施する施工事業者等を対象に、河川において自然環境の保全・再生に取り組むための研修会やコンペを実施した。</p>	<p>改修箇所：2河川</p> <p>多自然川づくりコンペ1回 研修会の開催：8回 (延岡市4回、宮崎市4回) 参加人数約1600人</p>	<p>内水面資源保護活動実践事業</p> <p>広域河川改修事業 総合流域防災事業 土地利用一体型水防災事業</p>	

(2) 自然環境に配慮した海岸づくりの推進

[取組状況]	[取組成果]
海岸浸食防止のため消波ブロックを設置した。	消波ブロックの設置: 1箇所

[主な関連事業名等]	[農村整備課]
海岸保全施設整備事業	

(3) ため池・ダム貯水池の保全と適切な管理

[取組状況]	[取組成果]
漁業者が行う外来魚駆除活動に対して支援を行った。	実施ダム数: 1箇所

[主な関連事業名等]	[漁村振興課]
内水面資源保護活動実践事業	

(4) 親水性の確保

[取組状況]	[取組成果]
河川管理のコスト縮減と官民協働による河川管理の推進を図ることを目的に、堤防などの草刈りを地元自治会等に委託した。	参加団体: 483団体

[主な関連事業名等]	[河川課]
河川パートナーシップ事業	

[施策の基本方向]

4 自然とのふれあいの場の確保

[施策の展開内容]

(1) 自然とふれあう場や機会の確保

[取組状況]	[取組成果]
県民誰もが施設を安全かつ快適に利用することができるよう、県が管理する自然とのふれあい施設の整備を行った。 都市と農山漁村の交流を積極的に取り組む実践者を対象に、能力向上や情報交換等を目的とした研修会を支援した。 ひなもり台県民ふれあいの森を快適な森林空間として維持管理し、森林、林業体験や森林レクリエーションの場としての活用を図った。	整備箇所: 5箇所 青島園地、高千穂峡園地 九州自然歩道尾鈴コース他 参加者: 支援団体: 2団体 利用者数: 69,635人

[主な関連事業名等]	[自然環境課] [地域農業推進課] [みやざきの森林づくり推進室]
自然公園等利用施設整備事業 農家民宿受入体制強化事業 ひなもり台県民ふれあいの森等管理事業	

(2) 自然環境教育・学習の充実

[取組状況]	[取組成果]
「川南遊学の森」において、自然体験講座を開催するなど、自然環境教育・学習の充実を図った。	講座回数: 12回

[主な関連事業名等]	[みやざきの森林づくり推進室]
「川南遊学の森」森林環境教育活用促進事業	

(3) 自然とのふれあい施設設置における自然環境への配慮

[取組状況]	[取組成果]
自然環境へ配慮するため、県が管理する自然とのふれあい施設を木製で整備した。	整備箇所: 4箇所 青島園地 九州自然歩道尾鈴コース他

[主な関連事業名等]	[自然環境課]
自然公園等利用施設整備事業	

(4) 自然とのふれあい活動における自然環境への配慮

[取組状況]	[取組成果]
駆除を目的とした釣り大会や各種イベント等を通じて啓発を行い、外来魚の密放流防止や在来種の生態系保全を図った。	参加者: 2,255名

[主な関連事業名等]	[漁村振興課]
内水面資源保護活動実践事業	

【主な指標と実績】

項目	H20年度 (現況値)	H24年度 (目安 (実績))	H32年度 (目標値)
自然公園面積 (ha)	92,024	92,024 92,024	現状維持
自然環境保全地域面積 (ha)	184	184 184	現状維持
緑地環境保全地域面積 (ha)	21	21 21	現状維持
間伐実施面積 (ha)	(H21) 9,170	9,400 5,866	10,000
森林ボランティア延参加者数 (人)	25,434	27,000 26,258	33,000
森林認証面積 (ha)	37,959	43,639 47,427	55,000
自然環境の保全・創出に取り組む 河川数 (河川)	66	66 68	66
ひなもり台県民ふれあいの森利用者数 (人)	(H21) 83,138	84,191 69,635	87,000



1-(4) ヒメシロレイシガイダマシの駆除



2-(2) 間伐

H24年度は未算定のため、以下は参考として直近の実績値を示す。

項目	H20年度 (現況値)	H23年度 (目安 (参考))	H24年度 (実績)	H32年度 (目標値)
ノカイドウ株数 (株)	556	667 600	未公表	1,000
シカ推定生息数 (頭)	77,000	48,000 44,900		28,500
森林面積 (千ha)	590	590 590		590
人工林率 (%)	60	60 60		58
天然林率 (%)	37	38 37		39
竹林・その他 (%)	3	3 3		3
森林蓄積量 (百万m ³)	148	151 154		160
自然公園利用者数 (千人)	8,640	8,640 8,495	現状維持	



3-(1) 自然豊かな水辺の工法研究会



4-(1) 青島園地 防護柵改修

環境と調和した地域・社会づくり

快適な生活を営める地域づくりや環境に配慮した産業が盛んになり、環境にやさしい社会が実現した宮崎県を目指して、施策を展開した。

【施策の基本方向】

1 環境にやさしい地域・産業づくり

【施策の展開内容】

(1) 魅力ある農山漁村等づくり

【取組状況】

農村における農地や農道等の整備、生活排水処理施設等の整備や接続率向上など、環境との調和に配慮した農村等の生活環境施設の整備を図った。

地域住民等が参加する農地・農業用施設の適切な管理、農村の自然環境や景観の良好な保全・形成などの共同活動に対して支援した。

国土保全機能の維持向上を図るため、農山村地域の公共資産の維持・管理や、里地や棚田などの保全に対して支援した。

自然との調和、景観の美化を図った漁港区域の環境整備を行った。

藻場回復を図るため、漁業者が行う食害生物(ウニ類等)の除去、母藻の設置、囲網の設置等の活動経費の支援や技術指導等を行った。

【取組成果】

営農飲雑等の整備:4地区
集落排水施設の診断:3ヶ所
県内全域:254組織

里地棚田地域の整備:2地区

整備漁港:2漁港
(川南漁港、油津漁港)

藻場等保全組織による活動支援(9組織)

【主な関連事業名等】

中山間地域総合整備事業
農業集落排水事業

農地・水・環境保全向上対策

里地棚田保全整備事業

漁港環境整備事業

環境・生態系保全活動支援事業

【農村整備課】
【漁村振興課】
【水産政策課】

(2) 健全な水循環の確保

【取組状況】

水源地等の上流域で放置された森林を対象に広葉樹造林を行った。

【取組成果】

広葉樹造林155ha

【主な関連事業名等】

水を貯え、災害に強い森林づくり事業

【森林経営課】

(3) 環境とともに歩む循環型農林水産業の推進

【取組状況】

「みやざき環境保全型農業推進プラン」を策定するとともに、生産工程を適正に管理するGAPの推進や、生物農薬等を活用した宮崎方式ICM(総合的作物管理)技術の開発・普及により環境保全型農業の推進を図った。

エコファーマーや集団等が行う化学肥料や農薬等の環境への負荷を低減した農業の取組を支援した。

資源の循環利用や森林の持つ公益的機能の高度発揮に資するため、植栽、下刈、間伐等の支援を行った。

森林認証制度の普及を図るとともに、市町村有林の認証取得を促進した。

森林GISの導入等、市町村における森林資源の情報把握体制の整備を促進した。

適切かつ効率的な森林施策が行われるよう、林道や作業路の整備、機材等の導入を支援した。

【取組成果】

主要産地のGAP取組率:56%
ICM指標の作成:2件
特別栽培等の取組面積:793ha
植栽:1,679ha
下刈:8,846ha
除間伐:5,866ha
認証森林面積:21,204ha(H24年度取得)
実施市町村数:7市町
林道開設延長:11km
作業道開設延長:138km

【主な関連事業名等】

「宮崎方式ICM」定着促進緊急対策事業

環境にやさしい宮崎エコ農業総合支援事業
環境保全型農業直接支援対策
[営農支援活動]

森林環境保全直接支援事業
間伐推進加速化事業
水を貯え、災害に強い森林づくり事業

持続可能な森林経営具現化実践事業

宮崎の森林・林業再生促進事業

道整備交付金事業
林業専用道整備事業
山のみち地域づくり交付金事業
県単林道網総合整備事業
森林路網整備加速化事業

【営農支援課】 【森林経営課】
【農産園芸課】 【水産政策課】
【山村・木材振興課】
【畜産振興課】

<p>基幹林業作業士養成研修の実施により、林業作業士を養成した。</p> <p>生分解性マルチフィルムの実証試験を行った。</p> <p>漁場環境の保全を図るため、漁業者が行う干潟の耕耘等の活動経費の支援や技術指導等を行った。</p> <p>林地残材の効率的な収集・運搬の確立に向けたモデル的な取組を行った。</p> <p>「緑の雇用」からの就業者や再参加者を雇用した事業体に対して、定着のための奨励金を交付した。</p> <p>家畜排せつ物の適正処理と有効利用を図るため、利用者ニーズに応じた堆肥の生産や利用促進のための堆肥分析、技術者養成及び処理・利用施設機械の整備推進等を行った。</p>	<p>林業作業士養成：19名</p> <p>6品目県内4地区に現地実証圃を設置</p> <p>藻場等保全組織による活動支援(2組織)</p> <p>実証試験の実施(県北地域)・収集・運搬量509t</p> <p>91名分を35事業体に交付</p> <p>堆肥生産・利用研修会等：参加者104名</p> <p>堆肥等成分分析：36件</p> <p>機械等の整備：39箇所</p>	<p>基幹林業作業士養成事業</p> <p>農業用廃プラ適正処理体制整備支援事業</p> <p>環境・生態系保全活動支援事業</p> <p>森林バイオマス流通効率化事業</p> <p>森林の仕事就業定着促進事業</p> <p>新生！みやざき畜産バイオマス利活用対策事業</p> <p>口蹄疫畜産再生基金事業</p>
---	--	---

(4) 本県の地域特性を活かした体験・交流型観光の推進

<p>グリーン・ツーリズム実践者等を参集した研修会の開催支援や「農林農山漁村生活体験に係る実施方針」を作成し、農家民宿の開業を促進支援した。</p>	<p>農家民宿新規開業：16軒</p>	<p>【主な関連事業名等】</p> <p>【地域農業推進課】</p> <p>農家民宿受入体制強化事業</p>
--	---------------------	--

(5) 環境ビジネスの創出・育成

<p>産学官における産業廃棄物の削減等に資する研究開発を支援した。</p>	<p>1件の可能性調査、2件の技術開発を採択</p>	<p>【主な関連事業名等】</p> <p>【産業振興課】</p> <p>環境リサイクル技術開発促進対策事業</p>
---------------------------------------	----------------------------	---

【施策の基本方向】

2 快適な生活空間の創出

【施策の展開内容】

(1) うるおいとやすらぎある美しい景観・環境づくり

<p>【取組状況】</p> <p>県民や行政職員に対する講演会や研修会を通じ、景観啓発を行うとともに、市町村の要請に対して景観アドバイザーを派遣し、景観形成の取組を支援した。</p> <p>国道において、花の植栽や植栽管理や無電柱化等を推進した。</p> <p>屋外広告物条例の周知、規制地域の見直し、違反広告物への指導等や「風致地区内における建築等の規制に関する条例」の規定に基づく規制を行った。</p> <p>老朽化した公園施設の更新や都市公園等の効率的な維持管理を行うことにより、公共の福祉の増進や都市環境の保全を図った。</p> <p>地域住民との協働による河川堤防の草刈りを実施した。</p> <p>民間のノウハウを生かした社会実験(体験型啓発)、さらに調査研究を行った。</p>	<p>【取組成果】</p> <p>講演会・研修会開催：21回</p> <p>景観アドバイザー派遣：12回</p> <p>植栽等：国道220号他17路線72地区</p> <p>無電柱化：国道269号他2路線3工区</p> <p>違反広告物は正：554件</p> <p>許可等件数：115件</p> <p>指定管理者制度導入施設6施設等</p> <p>参加団体：483団体</p> <p>体験型啓発：1回</p> <p>調査研究：1件</p>	<p>【主な関連事業名等】</p> <p>【都市計画課】</p> <p>【道路保全課】</p> <p>【河川課】</p> <p>美しい景観づくり事業</p> <p>地域自主戦略交付金(交通安全事業)</p> <p>沿道修景美化推進対策事業</p> <p>宮崎県屋外広告物条例</p> <p>風致地区内における建築等の規制に関する条例</p> <p>公共都市公園事業</p> <p>指定管理者制度</p> <p>河川パートナーシップ事業</p> <p>民間活力を生かした景観・地域づくり支援事業</p>
---	---	--

(2) 歴史的・文化的資源の保護・継承

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【文化財課】

「みやざきデジタルミュージアム」により、指定文化財や博物館・美術館等の所蔵資料の情報を提供した。
県内の文化財について、指定や保護に関わる調査を行い、文化財の保護・継承を推進した。

情報掲載:5,217件
島内地下式横穴墓群出土品の国重要文化財の指定(えびの市)

デジタルミュージアム構築事業
指定文化財管理実態調査

(3) 環境と調和した生活空間づくり

【取組状況】

【取組成果】

【主な関連事業名等】

【建築住宅課】

インターネットを通じてエコ住宅等の住まいに関する情報を提供した。

アクセス件数:24,336件

住情報提供推進事業

【主な指標と実績】

項目	H21年度 (現況値)	96.7 95.1 (目安) (実績)	H32年度 (目標値)
エコファーマー認定件数(件)	2,959	3,107 1,696	3,500
農林漁業体験民宿数(軒)	92	121 124	200
都市公園面積(都市計画区域 人口1人当たり)(m ² /人)	20.7	20.8 21.2	21.0



1-(3) 実証モデル試験(県北地区)



1-(4) 農林漁業生活体験(農家民宿)における釜茶体験

環境保全のために行動する人づくり

県民みんなが環境に深い理解と関心を持ち、豊かな自然にふれながら暮らしと環境の関わりや自然の役割について学び、環境にやさしい暮らしを実践している宮崎県を目指して、施策を展開した。

【施策の基本方向】

1 環境学習の推進

【施策の展開内容】

(1) 学校等における環境学習の推進

【取組状況】

【取組成果】

学校において、校内緑化・美化活動、環境問題についての学習、地域の美化活動、環境教育講演会(高等学校のみ)等を実施した。

子どもエコクラブのサポーター等を集めた交流会を実施するとともに、子どもエコクラブに対する活動支援を行った。

環境教育推進校8校
(小学校3校、中学校3校、高等学校2校)

子どもエコクラブへの環境情報及び教材の提供

【主な関連事業名等】

【学校政策課】

【環境森林課】

家庭・地域と連携した環境教育推進事業

環境情報センター運営事業

(2) 家庭、地域、職場における環境学習の推進

【取組状況】

【取組成果】

学校・地域と連携して地域の環境美化活動やリサイクル活動を実施するとともに、学校通信やホームページで取組を紹介した。

「環境情報センター」において、環境学習会の開催や環境保全アドバイザーの派遣等を行った。

地域における環境意識を高めるため、環境ポータルサイト「みやざきの環境」を通じて、環境保全活動のイベント情報や実践事例等の情報を発信した。

環境教育に対する関心を学校・家庭・地域全体で高める契機とすることができた。

利用者数：21,900人
環境学習・出前講座：63回
(参加者2,941人)
アドバイザーの派遣：100回(参加者3,779人)

アクセス件数：129,193件

【主な関連事業名等】

【学校政策課】

【環境森林課】

家庭・地域と連携した環境教育推進事業

環境情報センター運営事業

ネットで環境学習推進事業

(3) 環境学習に関する情報の提供

【取組状況】

【取組成果】

県民一人ひとりの環境学習に役立つ情報の提供を行うため、啓発紙「ecoみやざき」を配布した。

県民の自主的な環境学習を促進するため、インターネットを活用し、環境保全活動事例やイベント情報を紹介した。

年3回、各8,000部

アクセス件数：129,193件

【主な関連事業名等】

【環境森林課】

県民総力戦による環境実践行動推進事業

ネットで環境学習推進事業

(4) 環境学習を担う人材の養成・確保

【取組状況】

【取組成果】

教職員を対象とした環境教育研修を行った。また、環境省等が実施する環境教育リーダー研修基礎講座へ派遣した。

「地球温暖化防止活動推進センター」において、地域や学校等で行う省エネ活動等の取組の普及を図るため、地域で活動する地球温暖化防止活動推進員を対象とした研修会を開催した。

自然を守り育てるボランティア及びリーダーとしての自然保護推進員の活動を促進した。

「環境情報センター」において、環境学習会の開催、環境保全アドバイザーの派遣の他、エコ幼稚園・保育所に対する活動支援を行った。

開催数：2回(46人受講)
派遣人数：3名

研修会の開催：3回等

自然保護推進員登録人数：572名
自然保護推進員大会の開催：1回(参加者134名)

利用者数：21,900人
環境学習・出前講座：63回
(参加者2,941人)
アドバイザーの派遣：100回(参加者3,779人)

【主な関連事業名等】

【学校政策課】

【環境森林課】

【自然環境課】

家庭・地域と連携した環境教育推進事業

地球温暖化防止活動推進事業

自然保護推進員活動促進事業

環境情報センター運営事業

(5) 環境学習拠点の整備、機能充実

【取組状況】

【取組成果】

<p>環境学習の拠点として、県立図書館内に「環境情報センター」を設置し、環境に関する相談の対応や、情報提供、講座の開催、アドバイザーの派遣等を行った。</p> <p>「エコクリーンプラザみやざき」において、廃棄物の適正処理やリサイクルについて、啓発を行った。</p>	<p>利用者数：21,900人 環境学習・出前講座：63回 (参加者2,941人) アドバイザーの派遣：100回 (参加者3,779人)</p> <p>施設見学者数：12,445人 情報誌作成 2,000部 × 2回等</p>
---	---

【主な関連事業名等】

【環境森林課】

【循環社会推進課】

<p>環境情報センター運営事業</p> <p>「エコクリーンプラザみやざき」を活用した環境学習啓発事業</p>

(6) 森林環境教育の推進

【取組状況】

【取組成果】

<p>県民自らが取り組む木育実践活動を支援した。</p> <p>森林環境教育等を推進するため、宮崎県緑化推進機構に相談窓口を設置し、小中学校や自治公民館等を対象に、講師の派遣や資料の提供を行った。</p> <p>「川南遊学の森」で子ども達や一般県民を対象にした自然体験講座の実践活動を行った。</p>	<p>木育支援団体：9団体</p> <p>派遣件数：53校・地域</p> <p>自然体験講座回数：12回</p>
--	--

【主な関連事業名等】

【山村木材振興課】

【みやざきの森林づくり推進室】

<p>杉コレde木育プロジェクト推進事業</p> <p>森林環境教育実践推進事業</p> <p>「川南遊学の森」森林環境教育活用促進事業</p>
--

【施策の基本方向】

2 環境保全活動の推進

【施策の展開内容】

(1) 各主体が自発的に行う環境保全活動の支援

【取組状況】

【取組成果】

<p>森林ボランティア団体の育成や県民公募型の森林づくり活動等への支援を行った。</p> <p>「みやざき森づくりコミッション」による森林づくりに関する情報発信や森林づくり活動に対するサポートを行った。</p>	<p>公募型団体数：33団体</p> <p>相談件数135件、ホームページによる情報発信等</p>
---	---

【主な関連事業名等】

【みやざきの森林づくり推進室】

<p>森林づくり応援団活動支援事業</p> <p>「みやざきの森づくりコミッション」活動促進事業</p>
--

(2) 多様な主体が一体となって環境保全活動に取り組む体制の充実

【取組状況】

【取組成果】

<p>環境みやざき推進協議会と連携し、「環境フェスタ」や県民総ぐるみの環境美化活動「クリーンアップ宮崎」を開催した。</p> <p>「環境フェスタ」において、環境保全・美化活動に関し、特に顕著な功績のあった者(企業、団体、地区を含む)を表彰した。</p>	<p>参加者数 環境フェスタ：120人 クリーンアップ宮崎：107,228人</p> <p>被表彰者：個人3、団体8</p>
---	--

【主な関連事業名等】

【環境森林課】

<p>県民総力戦による環境実践行動推進事業</p>

【主な指標と実績】

項 目	H21年度 (現況値)	H24年度 (目安) (実績)	H32年度 (目標値)
環境教育推進校指定校数 (校)	8	8 8	8
水生生物調査参加者数 (人)	2,287	2,481 2,350	3,000
こどもエコクラブ活動 参加者数(人)	2,332	2,378 1,930	2,500
環境保全アドバイザー講座等 受講者数(人)	5,799	6,127 3,779	7,000
ホームページ「みやざきの環境」への アクセス件数(件)	371,020	488,015 129,193	800,000
環境情報センター利用者数 (人)	12,691	14,684 21,900	20,000
森林環境教育実践校(団体)数 (校・団体)	54	56 53	60
森林づくり団体公募活動支援数 (団体)	27	31 33	40
地方公共団体実行計画(事務事業編) を策定した市町村の割合(%)	64	74 77	100
地方公共団体実行計画(区域施策編) を策定した市町村の割合(%)	-	14 15	50
「環境みやざき推進協議会」参加会員数 (団体等)	502	638 517	1,000



1-(4) 自然保護推進員大会



1-(4) アドバイザー派遣による講座



1-(5) 環境情報センター



2-(2) 環境フェスタ